

過疎集落の安心・安定の暮らし維持構想策定事業の概要

中山間地域等の過疎集落住民の安心できる、安定した暮らしの維持を図るため、生活に必要な基礎的サービスの効果的かつ効率的な確保と、地域資源を活用した内発的な地域産業育成の取り組みについて、住民生活の一体性が確保され得る地区単位(学区程度)で、市町村が当該地区住民などの地域関係者と連携し行う、「安心・安定の暮らし維持構想」とこの構想実現に向けたアクションプログラムの作成を支援します。

構想・アクションプログラムの例

生活物品を届ける手段の確保

(医療・福祉バス) (物品販売車)



教育

行政

直売市

農産物の加工・販売

スーパー
コンビニ

医療
福祉

中心集落への集約化

へき地診療所

金融

(郵便局、
JA)



(NPO等自家用有償
運送、会費制の無償
運送)

解体撤去

生活サービス提供拠点
施設の集約化に伴い不要
となった施設の解体撤去

解体撤去

75歳以上の高齢
者比率50%以上
の集落

住民の移動手段の
確保

事業実施項目

地区の現況調査
人口動態・地域資源の調査

専門家などのアドバイザー現地視察・
講演など
例: 公共交通システム
マーケティング、商品企画
住民参加型まちづくり など

構想策定のための住民・関係者による
ワークショップの開催

構想・アクションプログラムの作成

アクションの試行
例: 施設の集約
公共交通運行の試験的实施
商品試作品作成・販売